

相模原事件があぶり出した日本の裁判の「異常」

知見や教訓を得ないまま「儀式化」が進んでいる

次ページ »

中村 陽子：東洋経済 記者

2021/02/23 15:00

シェア 159

ツイート

一覧

2

メール

印刷

A

A



森達也（もりたつや）／1956年生まれ。立教大学法学部卒業後、広告代理店、不動産会社、商社、テレビ番組制作会社などを経て9年独立。明治大学特任教授。映画はオウム真理教信者たちの日常を映した『A』、続編『A2』、作曲家・佐村河内守に密着した『FAKE』、『一新聞記者ドキュメント』など。著書も多数。（撮影：今井康一）

2016年、死者19人、負傷者26人を出し日本中を震撼させた相模原障害者施設殺傷事件。元職員・植松聖（さとし）の裁判は初公判からわずか1ヶ月強で結審、死刑が確定した。かつてオウム真理教・麻原彰晃の判決公判に立ち会った著者は強烈な既視感を覚える。それは、最初から凶悪事件に死刑ありきで裁判が儀式化している現実。結果的に事件の動機や背景の解明は不十分なまま、次々と闇へ葬り去られている現実だった。『U 相模原に現れた世界の憂鬱な断面』を書いた映画監督で作家の森達也氏に聞いた。

17年前の「オウム裁判」と重なった

——既視感を抱かれた光景とは？

植松聖への判決が迫る中、改めて資料を読み込んで気づいたのが、彼の精神状態を正面から問題視する議論がほぼ皆無なことでした。卑劣、邪悪、冷酷などステレオタイプな語彙で悪のアイコンが造形され、罰せられて当然という空気が固まった中で裁判は進行した。

17年前、オウム・麻原彰晃の判決公判で目にした光景がよみがえりました。刑務官に支えられ座っていた麻原は、どう見てもまともじゃなかつた。そもそも裁判の途中から彼は弁護団と意思疎通できなくなっていた。ほぼ意識喪失状態の被告を「訴訟能力なし」とはせず裁判は肃々と進行し、一審で死刑が確定。そのとき抱いた違和感、同時期に取材を始めていた死刑問題に対する違和感、植松の裁判はその延長線上にあるとふと思つた。急きょ拘置所へ彼に会いに行き、モヤモヤは確信になりました。

——植松の弁護団は、心神喪失状態での犯行であり責任能力なしと主張、それを被告自ら強く否定する経緯がありました。

彼の理屈では、心神喪失とは「心がない」状態の人たちで、それを理由に自分は手を下したのに、その自分が心神喪失では筋が通らない、と反駁



アクセスランキング

1位	電通を「過去最大赤字」に追い込んだ元凶の正体 中川 雅博	1時間	24時間	週間	月間	シェア
2位	携帯代13000円以下!今どのプランを選ぶべきか 「週刊女性PRIME」編集部					
3位	自転車と原付の「いいトコ取り」電動バイク3選 「OCEANS」編集部					
4位	新幹線「東京→札幌間」、時間短縮に何が必要か 鉄道ジャーナル編集部					
5位	糖尿病の人が「認知症」に2倍かかりやすい衝撃 新井 平伊					

※過去1週間以内の記事が対象

» 11~30位はこちら



トレンドウォッチ

AD

日立建機特設サイトにてストー!
わくわくするみらいは、ありま

週刊東洋経済の最新号

脱・ストレス 不安加速社会
への4つの処方箋

相模原事件があぶり出した日本の裁判の「異常」

知見や教訓を得ないまま「儀式化」が進んでいる

« 前ページ

次ページ »

中村 陽子：東洋経済 記者

2021/02/23 15:00

シェア 159

ツイート

一覧

2

印刷

でも彼は犯行前、殺戮（さつりく）予告の手紙を衆議院議長に手渡そうとして通報され、措置入院させられています。通常ならば、その前歴を理由に精神障害を疑われてもおかしくない存在。実際に手紙の中身は、自分はUFOを2回見たとか支離滅裂で、「作戦実行」の見返りとして逮捕後の監禁は最長2年で無罪放免、新しい名前と本籍、美容整形して社会復帰、金銭支援5億円の確約などを求めている。この時点ですでに常軌を逸しています。

公判初日にはいきなり「謝罪します」と叫び、小指をかみ切ろうとして制止された。そして翌早朝、独房内でかみちぎった。精神錯乱を装うパフォーマンスと解釈する人は少なくなかったけど、監視カメラから隠れて短時間で、関節までゴリゴリかみ砕くことがパフォーマンスができるだろうか。少なくとも僕にはできない。

精神鑑定はほぼ添え物状態

——精神鑑定の結果は人格障害。判決文では「異常さまではうかがわれない」「理解できる範囲内」とし、完全責任能力を認めました。

責任能力の一点に論点が集約される裁判でした。そしてその大前提が、精神状態の正常異常を問わず極悪人は罰せられるべし、だった。責任能力を認定するためには被告は正常でなければならず、そのつじつま合わせに終始して、肝心の精神鑑定はほぼ添え物と化していた印象です。正常で責任能力があるというなら、そんな普通の人がなぜあれほどの凶行に及んだのか、そのメカニズムを分析すべきです。精神鑑定において生育歴の調査は重要な意味を持ちますが、植松の裁判ではほとんど触れていません。その結果として知見や教訓が集積されずに幕が引かれる。

以前は分厚かった精神鑑定書も、最近はA4判2、3枚の分量にしてくれと裁判所から指導されるという話を聞き驚いた。何百枚あっても説明しきれない人の心理を2、3枚で要約しろ、はないだろうと。

次ページ 裁判員裁判における負の側面

1 3

関連記事

遺品整理人が見た「汚物・激臭・虫」より辛いもの

元プロボクサー「余命1年宣告」で見た地獄

デキる人の1日は「前日の寝る前」から始まる

日本では、なぜ性被害者の肩身が狭いのか

宅配業者は「過重労働の矛盾」に直面している

今の日本男子は完全に「父性」を失っている

トピックボード

AD



アクセスランキング

- | | |
|----|--|
| 1位 | 電通を「過去最大赤字」に追いついた元凶の正体
中川 雅博 |
| 2位 | 携帯代「3000円以下」今どのプランを選ぶべきか
「週刊女性PRIME」編集部 |
| 3位 | 自転車と原付の「いいトコ取り」電動バイク3選
「OCEANS」編集部 |
| 4位 | 新幹線「東京ー札幌間」、時間短縮に何が必要か
鉄道ジャーナル編集部 |
| 5位 | 糖尿病の人が「認知症」に2倍かかりやすい衝撃
新井 平伊 |

※過去1週間以内の記事が対象

» 11~30位はこちら

70,694円 102,528円 99,800円

120,003円 112,279円 111,689円

トレンドウォッチ

AD

日立建機特設サイトにてストー!
わくわくするみらいは、ありま

週刊東洋経済の最新号

脱・ストレス 不安加速社会
への4つの処方箋

相模原事件があぶり出した日本の裁判の「異常」

知見や教訓を得ないまま「儀式化」が進んでいる

中村 陽子：東洋経済 記者

2021/02/23 15:00

シェア 159

ツイート

一覧

2

印刷

A

A

——裁判はいったん審理を中断し、治療すべきだったと思いますか？

オウムの麻原の場合、それはあったと思うけど、植松の場合は簡単には治らないかもしれない。でももっと時間をかけて、コミュニケーションを図れば、いろんなものが見えてきたはず。治療の方向性を模索して、今後に生かすことができたかもしれない。彼の変化を知ることは社会の共有財産になると思うのです。凶悪犯にわれわれの税金を使うな、と世間からは猛反発を食らうでしょうけど。

あれほど犠牲者が出たのに1ヶ月強で結審

——本では、裁判員裁判における負の側面も指摘されています。

公判前整理手続きの問題ですね。市民から選ばれた裁判員に過度な負担がかからないよう、公判前に裁判官・検察官・弁護人の3者が協議して争点を絞り込み、審理計画を立てる制度です。裁判は公開が原則。だから傍聴席がある。ところが公判前整理手続きは密室で行われ、あとは法廷での筋立てに沿って進めるだけ。まさしく演劇です。それを僕たちは見せられる。

だから、あれほどの犠牲者を出した植松の裁判も結審までたった1ヶ月強。それに対し「いくら何でもおかしいだろう」って声が出てこない。メディアも、例えは現場で取材してきた記者が、裁判全体を通して異常だと思っていても、世論の反発を恐れて報じない。法廷に市民感覚を導入するとして始まった裁判員裁判だけど、論理や理性以上に、感情が法廷を支配するようになった。日本の裁判は現在進行形で変わり続けています。

——3者協議でつくられるシナリオも、社会感情をくんだものに？

はい、それは間違いない。

名古屋地裁裁判長に密着した「裁判長のお弁当」という07年放送のドキュメンタリーがあります。印象的なのが、午前の法廷が終わるや裁判長が自室に駆け込み、テレビのニュースを見るシーン。自分の法廷がどう報道されているか食い入るように見ている。今ならSNSでしょうね。世間がどうリアクションするか、すごく気にしながら彼らはやっている。

裁判官は個人の良心に従って判決を下すのが建前ですが、やっぱりヒエラルキーなんです。1回へマしたら出世は無理。自分の判決が世間の反感を買えばもう致命的。だから、退任間近の裁判長が割と英断に近い判決を出したりする。刑事裁判ではないけど、原発差し止め訴訟でも「原発を造るべきではない」と判決を下した裁判官はみな退任間近だった。政治もメディ



自宅で“金”を取り扱うなら 田中貴金属の純金積立

Webサイトからの会員登録で QUOカードPay 1,000円分 もれなく プレゼント QUOPay クオ・カード・ペイ

さらに 30,000円以上の積立て 詳しくは こちら 対象期間：2021年2月1日～3月31日

アクセスランキング

1位	電通を「過去最大赤字」に追い込んだ元凶の正体 中川 雅博
2位	携帯代「3000円以下」今どのプランを選ぶべきか 「週刊女性PRIME」編集部
3位	自転車と原付の「いいトコ取り」電動バイク3選 「OCEANS」編集部
4位	新幹線「東京～札幌間」、時間短縮に何が必要か 鉄道ジャーナル編集部
5位	糖尿病の人が「認知症」に2倍かかりやすい衝撃 新井 平伊

※過去1週間以内の記事が対象

» 11～30位はこちら



『U 相模原に現れた世界の憂鬱な断面』（書影をクリックすると、アマゾンのサイトへジャンプします）

70,694円 102,528円 6,868円

120,003円 109,476円 111,689円

トレンドウォッチ

日立建機特設サイトにてストー！
わくわくするみらいは、ありま

週刊東洋経済の最新号

脱・ストレス 不安加速社会
への4つの処方箋

アも司法も今や市場原理。この国ではそれがどんどん強まっている。強いポピュリズムにどんどん押されている、って言い換えてもいいですけど。

→ 中村 陽子さんの最新公開記事をメールで受け取る（著者フォロー）

◀ 1 2 3

関連記事

[遺品整理人が見た「汚物・
死臭・虫」より辛いもの](#)

[元プロボクサー「余命1年
宣告」で見た地獄](#)

[デキる人の1日は「前日の寝る前」から始まる](#)

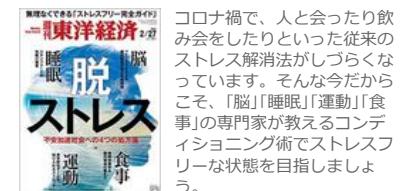
[日本では、なぜ性被害者の肩身が狭いのか](#)

[宅配業者は「過重労働の矛盾」に直面している](#)

[今の日本男子は完全に「父性」を失っている](#)

トピックボード

AD



[STOREに行く](#)

定期購読



Google Workspace

あらゆる働き方を、
1つのワークスペースで

Google のテクノロジーを活用して、
今にふさわしい働き方を実現している企業事例 →

@Toyokeizaiさんのツイート

東洋経済オンライン ✅
@Toyokeizai

■今人気の記事 ■【糖尿病の人が「認知症」に2倍
かかりやすい衝撃】気づかないままの人も実は
たくさん存在する#東洋経済オンライン
[toyokeizai.net/articles/-/412...](#)



埋め込む

Twitterで表示

トレンドライブラリー

AD

①

②

神戸製鋼グループが開発！疲れを感じるなら無料のコレ

上場企業の神戸製鋼グループが開発！特別な
「ゴールド」仕様のユーグレナがなんと無料！

株式会社ミカレア

[PR]

神戸製鋼グループが開発！疲れを感じるなら無料のコレ

上場企業の神戸製鋼グループが開発！特別な
「ゴールド」仕様のユーグレナがなんと無料！

株式会社ミカレア

[PR]

東洋経済の書籍

新刊

ランキング

なんでも「はじめて」大全
人類と発明の物語

圧倒的な情報量！「最初」を知れば、世界がわかる！ネジから女性の権利まで、人類文明における「はじめて」をこの1冊で網羅



AI時代に生きる数学力の鍛え方 思考力を高める学びとは

「暗記数学」を批判し、AI時代の人間に必要な「考える力」や創造力を養うものとせよと説く



知識創造企業(新装版)